

2025～26年度クラブ会報 第25号 2025年12月26日発行

2025年12月24日(水)第2535回 例会報告

卓 話 / 半 期 を 振 り 返 っ て 宮 崎 正 巳 会 長



1月7日プログラム

新 年 会
海 鮮 居 酒 屋 「一 心」

1月14日プログラム

ク ラ ブ 協 議 会

2025～26年度国際ロータリー会長テーマ
Unite for Good

ーよいことのために手を取合おうー

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ氏 (イタリア、ラグーザRO)

2025～26年度東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

『 互いに学び行動し、ロータリーを楽しもう 』

第54代会長 宮崎 正巳

・進行 後藤 正次 会場運営委員



・出席報告 阿久津 圭吾 会場運営副委員長

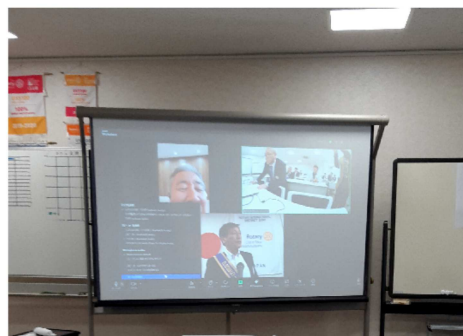


会 員 数	出 席 者 数	出 席 率	前々回出席率修正
29名	21名	75.00%	な し

・点 鐘 宮崎 正巳 会長



○ZOOM参加(3名)
酒寄好夫会員、倉内淳会員、倉内哲会員



年末の節目としての例会です。

・斉唱/「我等の生業」

ソングリーダー: 大野 正士 会員



・お祝い報告

8月誕生月 おめでとうございます。
鶴田大助会員



・会務報告 宮崎 正巳 会長

- 【2026-27谷一文子ガバナー年度】就任依頼書
- ・地区危機管理委員 比留間孝司会員
- ・地区RLI副委員長 佐藤貢会員
- 地区大会 追加登録受付のご案内(期間限定)
- ・【追加登録受付期間】
1月19日(月)10:00 ~ 1月23日(金)17:00
- ・事前登録者の登録取り消し(キャンセル)は不可
- 意義ある奉仕賞の申請に関するご案内 締切3/13
- 6/14 台北国際大会RI理事主催「親善朝食会」のご案内
- 訃報 東京秋川RC乙戸 康博(おつど やすひろ)会員のご母堂様 紀子様(享年85歳)が、12月17日ご逝去されました。

・ニコニコBOX発表 内野 均 親睦委員長



・幹事報告 山田 義高 幹事



ニコニコBOX

- * 宮崎正巳会長⇒2025年最後の例会となりました。これまで有難うございました。2026年も宜しくお願いします。
- * 鶴田大助会員⇒お祝いの有難うございます。元気に頑張ります。

◆今回計8,000円 累計 708,000円

- 「コーディネーターニュース」2026年1月号
- 東京東江戸川RC事務局移転のお知らせ
- 【御礼】地区懇親ゴルフ決勝大会及び返金のお知らせ
- 佐藤貢会員より沖縄のお土産「ブラックサンダー」を頂いております。

・委員会報告

- 内野均親睦委員長
- ・12月17日 クリスマス合同例会(武蔵村山RC・イースト衛星RC)実施報告
参加多数、アトラクション・抽選会等盛況
- ・1月7日 新年合同例会(昭島市・居酒屋一心)案内



・卓 話

「半期を振り返って」

宮崎正巳会長

会長卓話：半期を振り返って(詳細)

本卓話では、2025年7月から12月までの前半期を振り返り、クラブ運営・各種事業・地区活動・青少年交換事業について、成果と課題を整理し、後半期および次年度への申し送りを意識した総括が行われた。

(1)前半期総括の前提

- ・会長として7月より職務を担い、幹事・事務局・各委員長・会員の協力によりここまで運営できたことへの謝意が述べられた。
- ・振り返りの目的は「できたこと・できなかったことを整理し、後半6か月に活かすこと」および「次年度への申し送り」である。

(2)クラブ内運営について

① 理事会・全員協議会

- ・理事会は毎月第1例会前に開催し、クラブ運営の意思決定機関として機能。
- ・ただし、スケジュール確認が中心となり、十分な議論の時間が取れていない点を課題として認識。
- ・後半期はテーマ設定型の議論を取り入れ、理事会の質を高めていく方針。
- ・全員協議会については「双方向性」を重視し、意見交換の場としての活用を目指す。

② 年間プログラム・予算

- ・プログラム委員長による年間計画が早期に整理され、事業の約8割が前半期で固まった点を評価。
- ・青少年交換事業を含むため、予算規模は前年並み＋αとなり、年間約200万円の特別枠を含む。
- ・予算執行は概ね計画通り進行しているとの認識。

③ 例会運営・ZOOM活用

- ・ZOOM活用による出席率向上を当初方針として掲げたが、前半期は十分に活用できなかった点を反省。
- ・後半期はオンライン参加を積極的に取り入れ、参加しやすい例会づくりを進める。

(3)卓話・学びの振り返り

- ・「学び」をテーマに、多様な卓話を実施。
- ・主な卓話：
鳴村パストガバナー「ロータリーに夢を」
木下邦彦氏(福生RC)によるロータリー観・経験談
谷ーガバナーエレクト「ロータリーの旅」
子ども食堂の現状と課題(外部講師)
各委員長による内部卓話(国際奉仕・社会奉仕・公共イメージ等)
会員イニシエーションスピーチ
- ・卓話を通じて視野が広がり、ロータリーの価値を実感できた点を成果として評価。

(4)主要事業の振り返り

① ガバナー公式訪問(11月5日)

- ・事前準備を含め、複数会員による発表を実施。
- ・日頃のクラブ活動を点検する機会となり、一定の成果を得た。

② 会員増強・オープン例会(8月)

- ・オープン例会を実施し、新規候補者との接点を確保。
- ・年明け以降、具体的なフォローアップを行う予定。
- ・今期中に再度オープン例会を検討。

③ 社会奉仕活動

- ・子ども食堂の卓話を契機に、地域課題への理解が深まった。
- ・新たな取り組みとして「生理ナプキンディスペンサー事業」を検討中。
- ・貧困対策だけでなく、女性の生活環境改善を目的とした奉仕事業として前向きに検討。

④ 青少年奉仕(少年野球大会)

- ・少子化・競技人口減少により運営の難しさを実感。
- ・今後は内容の見直しや新たな青少年事業の検討が必要。

(5)青少年交換事業(重点報告)

- ・地区青少年交換プログラム(第60期生)をクラブとして受け入れ。
- ・実施を通じ、事業の完成度の高さと同時に、受け入れ側の負担や体制整備の重要性を痛感。
- ・ホストファミリーの交代、言語・生活・学校対応など多くの課題が発生。
- ・中国語話者前川会員の協力により、本人理解が進展。
- ・今後は支援体制を分散し、クラブ全体で支える仕組みづくりが必要との結論。

(6)後半期に向けて

- ・事業の「消化」ではなく「内容の質」を意識した運営。
- ・会員増強への継続的な取り組み。
- ・衛星クラブとの連携事業を事前に明確化。
- ・地区行事(分区連絡会・TRC・地区大会)への積極参加。

◇ 創 立 1972年7月8日 ◇ 承 認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会 長 宮崎 正巳 ◎ 幹 事 山田 義高
◎ 副会長 荒井 孝育 ○ 副幹事 前川 優大
□ クラブ会報委員長 大野正士 副委員長 坂元洋幸
委員 比留間一義、遠藤友紀雄、薄井政光、比留間勝一、倉内哲(S)

東京武蔵村山ロータリークラブ
事務局/例会場 西武信用金庫村山支店2階
〒208-0004東京都武蔵村山市本町2丁目91-1
TEL:042-520-3251/FAX:042-520-3252
Eメール:t-mmrc@crest.ocn.ne.jp
●例会日:毎週水曜日 12:30~13:30